

ルワンダに届け「メリーメマス」

ノートルダム 清心女子大生 難民孤児にせっけん

難民の孤児にせっけんのクリスマスプレゼントを——と、岡山市伊福町のノートルダム清心女子大の学生十人がせっけんやタオルを集め、ルワンダ難民に贈る。同市内の民間活動団体（N

GO）でつくる「ルワンダ難民救援グループ」代表の原田豊己・文学部助教（四〇）が孤児千人の生活するザイル・プカプの力リタ・スキャンプを訪問、クリスマススイブの二十四日、孤児

たちに手渡す。

原田助教は十月中旬に、

現地を視察。親を失った子どもたちの状況は悲惨で、



ルワンダへ贈るポシェットにクリスマスカードを入れる学生ら

細菌性の下痢やマラリアなどに苦しむ孤児も多かった。報告を聞いた学生たちは「せっけんを贈れば衛生状態が少しでも改善されるのでは」と活動を始めた。

学内でチラシを配り、同大付属小にも協力を呼びかけた。集まったせっけんは約八百個、タオルは七百枚。ポシェット六百枚も手作り

した。フランス語で「クリスマスおめでとう」と書いたカードも入れた。文学部一年の橋本晶子さん（一九）は「孤児たちに笑顔が戻れば」と話している。

活動は難民に衣料を贈る「ルワンダの子供に温かい手を」事業（読売新聞大阪本社など後援）の一環。同グループは難民支援の募

金、衣料の提供を求めている。募金は現金書留が郵便振替で、〒701-12 岡山市榎津三二〇の一、同グループ、郵便振替「012001-215325」へ。衣料

は〒662 兵庫県西宮市西宮浜一の三九、日光物産内、日本救援衣料センター「ルワンダ救援係」（06・271・4021）まで。